

2023年度 ニチキッズところざわ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2023年1月4日（木）～1月19（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2023年2月5日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもの姿に合わせて指導計画や保育のねらいを定め、子どもの最善の利益を考えながら保育を進めた。日々の保育は自己の振り返りととどまらず、クラス単位や園全体で考え話し合って進めていく。児童の権利や児童憲章など掲示等し、認識を深めていきたい。
子どもの発達援助	成長発達には個人差があることを常に考え、一人ひとりに寄り添った援助を行ってきた。子ども達の五感が満たされるよう保育を工夫して進めた。指導案立案等の事務業務の時間の確保と地域への情報発信や情報交換に課題が残る。
保護者に対する支援	日々の送迎時、保護者会、保育参加を通して子どもの姿に共感をしたり、成長を共有することが出来た。地域に対しては戶外活動時に挨拶をして交流を図っているが、十分ではないため地域の子育て支援にも目を向けていきたい。
保育を支える組織的基盤	毎日の保育の振り返りを行い、職員間の連携が密になるように取り組んだ。日々の職員体制や保育の計画を具体的に立てたことで情報が共有でき、安定した保育を進めることが出来た。

総評
保育の振り返りを細やかにを行うことを意識して保育を進めてきた。クラス単位はもちろん、園全体で話し合い、共有し、相談しながら保育をしてきたこと、また、研修で学んだことを職員間で共有し、保育に取り入れることが出来たことが保育の質の向上につながっている。職員全員が個人の振り返りを通して施設全体の評価を行ったことで、次年度への課題が明確になった。職員の離職も少なく、安定した運営が出来ている。今後も職員間の連携を図り、子どもの最善の利益を考えながら保育を進めていきたい。